

大阪城

2024
3/28
(木)
14438
号

全港湾
一西成分会

2647
6647-
4947

桜が咲きはじめ、ようやく暖かになっていきそうだ。

お役所的な新年度になっていく。

くすぶっている裏金問題だが、自民党の内部では暗闘が続いているようだ。二階氏(85歳)は、党の処分より先に、もう選挙には出ないノと、人に言わゆる前に自分から腹を切ってみせた。

山岸田政権が生れる切っ掛けが、長期の二階幹事長の問題で、それを批判の口実にして登場してきたのが山岸田政権だった。二階氏は同じ敗北の形はさせたというところだろう。あとは安倍派幹部で、選挙での自民党非公認「党員資格停止」形だけの発表表をして、4/10バイデン大統領との話に行くようだ。

アメリカでは大谷の通訳水原氏がギャンブルの借金も億用ほども大谷の口座から盗み送金したとかで、メディアの世界では、政治以上に報道されてくる。日本ではダウンタウン松本の第1回裁判とかで、スポーツ芸能人の話が政治よりもマスメディアの関心は高向いような姿になっている。明日からは、

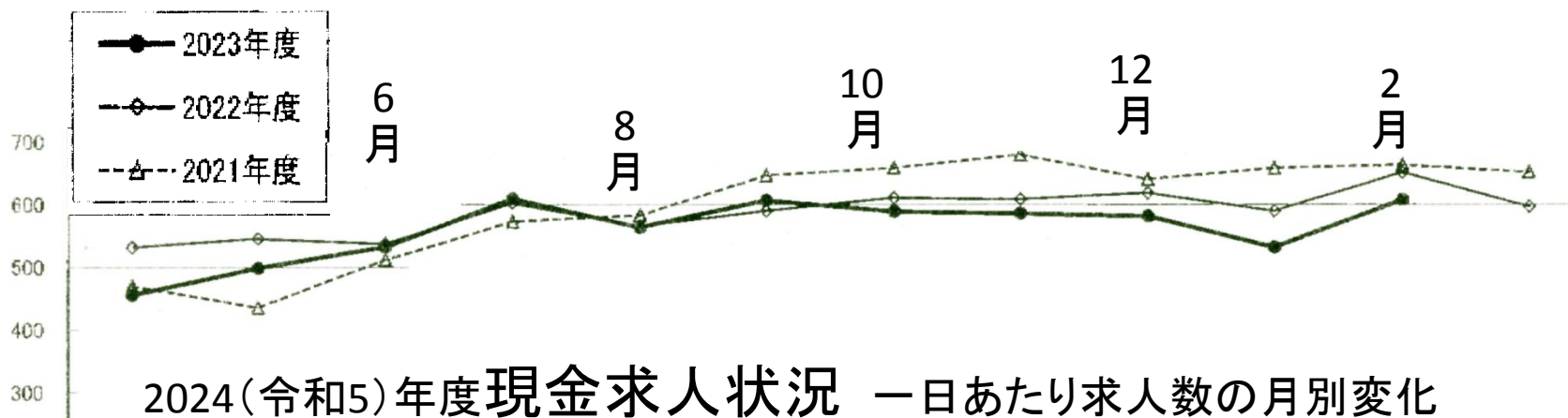
原爆の父オツペンハイマーの映画が日本で公開される。核兵器についての新しい知識が映画を通して、日本に広がっていくのだろう。転換期の年といわれる。2024年、4/1から新年度が始まっていく。

現金求人落ち込み続く

来週から「新年度」
でも回復せず

仲間のみなさん、お仕事ごろうさます。ほんらい年度末需要の時期であるはずですが期待に反して仕事は更に一段落ち込んでいます。

4月新年度は「端境期」と言われ従前から「仕事が枯れてそのあとに梅雨期になるので「地獄の季節」といわれてきました。来年度一段と厳しそう。



西成労働福祉
センター調べ